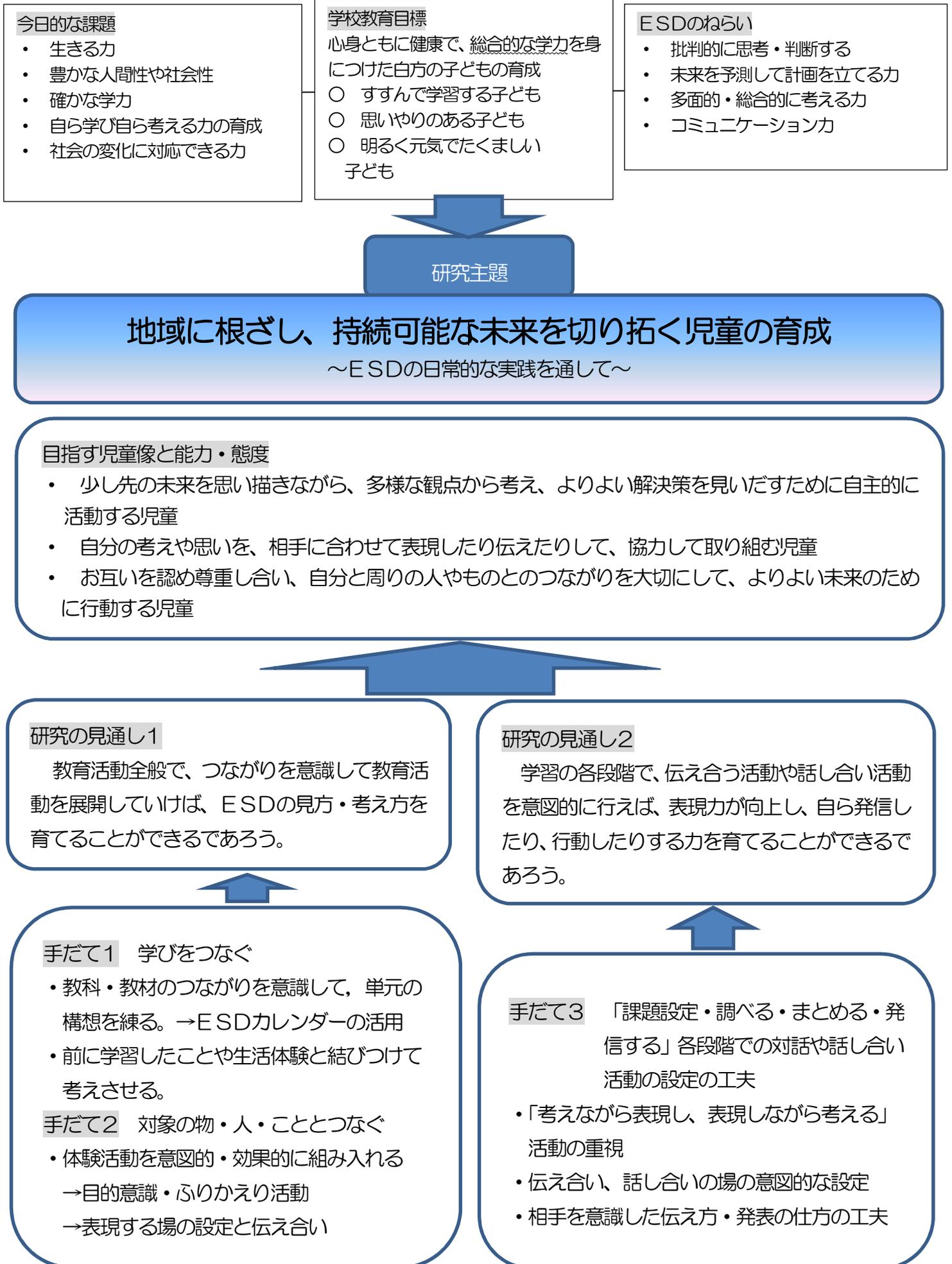


# 平成29年度 研究の全体構想



## <平成29年度の研究について>

### 1 昨年までの研究の成果と課題

「ESDの視点に立った学習指導」への理解と日常的な実践に向けた授業作りが進んだこと

- 第1段階として、まず児童の「持続可能な社会作りのための課題設定」が必要であり、十分な時間をかけることが重要である。
  - その単元でつけるべき「教科等の本来の力」と「ESDで育む力」を合わせて「ESDの視点に立った新たな単元の目標」を設定して授業作りを行うことにより、日常的な実践につなげることができる。
  - 指導案の中に「持続可能な社会作りとの関連」という項目を入れることにより、本単元の学習内容とESDの関わりを担当がどうとらえ、授業をデザインしているかを表現することとした。
  - 児童のESDの学びを確かに見取り、担任の負担が少ない評価の方法はどのようなものか。
- ② 「白方フェスタ」などの表現する場と機会を設定することにより、「白方小のESDで育む4つの能力・態度」が身についたこと
- 発表をきく相手を意識し、どのようなメッセージを伝えたいのか、それはどのような表現方法を使えばよいのかを考え、工夫する学習を通して、「白方小のESDで育む4つの能力・態度」が身についた。
  - 外国の学校と交流を行う場合、言葉の壁だけでなく、ESDへの温度差や学習のねらいの相違等、学習がスムーズに進まない原因となるものが多いことが分かった。
- ③ 授業以外でも児童の活動が広がったこと
- 児童会各委員会の活動
  - 白方サイエンスクラブの発足
  - 全校生による愛校活動
  - 宿泊活動での子どもたちの姿

### 2 今年度の取り組みについて

## 研究主題

# 地域に根ざし、持続可能な未来を切り拓く児童の育成

～ESDの日常的な実践を通して～

#### 研究の見通し1

教育活動全般で、つながりを意識して教育活動を展開していけば、ESDの見方・考え方を育てることができるであろう。

#### 実現のための手立て

##### ① 「つなぐ」ことを意識した学習指導や日常的な活動

###### ○ 「学び」をつなぐ

他教科や行事とのつながり（ESDカレンダーの活用）や既習事項とのつながりを明確にし、指導の構想を練る。

###### ○ 「対象の物・人・こと」とつなぐ

体験活動を効果的・計画的に組み入れ、目的意識（何のために、何を、どうやって）を持たせて体験活動に主体的に関わらせたり、事後の振り返り（何が分かったのか、それがどうつながるのかなど）をしっかりとせたりする。

#### 研究の見通し2

学習の各段階で、伝え合う活動や話し合い活動を意図的に行えば、表現力が向上し、自ら発信したり、行動したりする力を育てることができるであろう。

### 実現のための手立て

- ② 「課題設定・調べる・まとめる・発信する」の各段階での対話や話し合い活動の設定の工夫
- 自分で考え、まとめたことを表現するだけでなく、相手の発言を聞き、答えたりそれに対しての自分の考えを話したりすることを行わせる。→「考えながら表現し、表現しながら考える」活動の重視
  - ペア、グループ、全体などの形態を工夫し、自分の考えを表現することや友達の考えを聞いて自分の考えと比べること、自分の考えを広げたり修正したりすることを日常的に行う。
  - 相手意識を持たせ、話す相手や発表を聞いてもらう相手に伝わる伝え方や発表の仕方を工夫させる。

## (2) 白方小学校のESDの視点に立った学習指導で育む能力・態度

「生きる力」との関連	白方小のESDで育む4つの能力・態度			『最終報告書』 「7つの能力・態度」との関連
[知] <input type="radio"/> 思考力 <input type="radio"/> 判断力 <input type="radio"/> 課題発見能力 <input type="radio"/> 問題解決能力	多様な観点と見通し	多様な観点から考え、見通しを持ってよりよい解決策を考える力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ さまざまなものごとを多面的に見つめ、それをほかの分野や自分の知識・経験などと関連づけて総合的にとらえ、批判的に考えて判断する力</li> <li>・ 見通しを持って、よりよい解決策を積極的に考える力</li> </ul>	① 批判的に考える力 ③ 多面的、総合的に考える力
[知] <input type="radio"/> 表現力 [徳] <input type="radio"/> 協調性 <input type="radio"/> 感動する心	交流と協力	気持ちや考えを交流させ、協力して取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の考えを持つとともに、それを他者にしっかり伝えて、協力して実行する態度</li> <li>・ 相手の立場を尊重しながら、自分の気持ちや考えを伝え、積極的にコミュニケーションを行う態度</li> </ul>	④ コミュニケーションを行う力 ⑤ 他者と協力する態度
[徳] <input type="radio"/> 協調性 <input type="radio"/> 感動する心	つながり	さまざまな人や社会、自然などとのつながりを尊重する態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分と人・社会・自然などとのつながりに関心を持ち、尊重するとともに大切にしようとする態度</li> </ul>	⑥ つながりを尊重する態度
[知] <input type="radio"/> 判断力 [徳] <input type="radio"/> 自律心	主体的・計画的	よりよい未来をめざし、その実現に向けて主体的・計画的に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ よりよい未来を思い描きながら、その未来を実現するために必要なことに進んで計画的に取り組む態度</li> <li>・ 学んだことをもとに自分の生活を振り返り、よりよい生き方を考えようとする態度</li> </ul>	② 未来像を予測して計画を立てる力 ⑦ 進んで参加する態度

<生きる力>・・・知・徳・体のバランスのとれた力

確かな学力 [知]：基礎・基本を確実に身に付け、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力

○思考力 ○判断力 ○表現力 ○課題発見能力 ○問題解決能力

豊かな人間性 [徳]：自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心

○協調性 ○自律心 ○感動する心

健康・体力〔体〕：たくましく生きるための健康や体力

○運動に親しむ ○健やかな体

### (3) 指導案の形式について

第〇学年 ESD (〇〇科) 学習指導案

- 1 単元 (題材) 名
- 2 児童の実態
- 3 ESD の視点に立った学習指導について

(1) 教材について

教科・領域のねらいや、それに関わる児童の活動について記述している。

(2) 持続可能な社会づくりとの関連

本単元の学習内容とESDの構成概念との関わりを担当がどうとらえ、授業をデザインしているかを記述している。

これは、「持続可能な社会作りの構成概念」のうち、「I多様性」「II相互性」「V連携性」に当たると考えている。

「持続可能な社会作りの構成概念」6つ

I多様性 II相互性 III有限性 IV公平性 V連携性 VI責任性

(3) 本単元の学習指導で重視する能力・態度の内容とその指導

<気持ちや考えを交流させ、協力して取り組む態度>

「白方小学校版 ESDの視点に立った学習指導で重視する能力・態度」を本単元の児童の具体的な姿で記述し、それらの能力・態度を育てるための手立てを記述している。

<さまざまな人や社会、自然などのつながりを尊重する態度>

<よりよい未来をめざし、その実現に向けて、主体的・計画的に取り組む態度>

これらの能力・態度を育てるために、次のような点に留意して指導を進める。

①

4 単元の目標

春からの町探検をふりかえり、自分の心に残った地域のひみつを伝えたいという思いを持ち表現する方法を考えたりまとめたりする活動を通して、地域の良さや身近な人々と関わる楽しさがわかり、進んで交流することができる。

「白方小学校版 ESDの視点に立った学習指導で重視する能力・態度」に関わり、本来の単元の目標に加えて新たに設定した部分に下線を引いている。

「白方小学校版 ESDの視点に立った学習指導で重視する能力・態度」に関わる評価規準に下線を引いている。

5 指導計画と評価規準 (総時数 10時間)

本単元に関わる前単元名		関心・意欲・態度	思考・表現	気づき	
次	時	学 習 活 動	関心・意欲・態度	思考・表現	気づき
1	1 2	春からの町探検を作品や写真などから振り返り、伝える相手と伝えたいことを決める。	春からの町探検を振り返り、自分の心に残った地域の出来事を友達と伝え合っている。	<u>地域での活動を通して、自分の心に残った地域の出来事を振り返り、伝える相手を考えて、伝えたいことを決めている。</u> <つながり> <主体的・計画的>	

6 ねらい

自分の作品を使って、見つけたまちのひみつを伝え、地域の良さを知ってもらい楽しさや周りの人と関わることの楽しさに気づくことができる。

「白方小学校版 ESDの視点に立った学習指導で重視する能力・態度」に関わり、新たに設定したねらいの部分に下線を引いている。

なお、「総合的な学習の時間」の授業案については、そのねらいや内容が「ESDの視点に立った学習指導で重視する能力・態度」と重なる部分が多いため、「単元の目標」「指導計画」「(本時の)ねらい」等に下線を引いていない。

7 指導過程

過程	学習内容・活動	時間	○指導上の留意点 *ESDの視点に立った留意点・評価<ESDで重視する能力・態度>
導入	1 本時のめあてをつかむ。 まちのひみつをつたえよう。	7	○授業を参観している人たちについて説明し、白方のことを知らない人がほとんどであることを知らせ、白方のことを知らない人に白方のひみつを伝えるという相手意識を持たせる。
活動	2		*何人の人に伝えるか、どのように伝えるかを考えさせ自分で決めさせることにより、自分で目標を設定させる。
振り返り	3 (1)		
	4 振り返りをする。		<主体的・計画的>

「\* ESDの視点に立った留意点」を明示するための表記

本校では、本来の「ねらい」が定まっている各教科等においてESDの視点に立った学習指導を進める場合、次のような手順で「学習指導案」を作成していく。

- 1 その単元で児童に身につけさせたい「ESDの視点に立った学習指導で重視する能力・態度」を決める。それは、学年のテーマとの関連で、4項目（白方小学校版）全てでも構わないし、重点として絞っても構わない。検討に際しては、単元の学習内容はもとより、ESDカレンダーで他教科等・他単元との関連を確認する。
- 2 その教科等や単元本来の優先すべき「単元のねらい」と「ESDの視点に立った学習指導」
- 3 本時の授業のデザインに際しては、本単元で児童に身につけさせたいとして設定した「ESDの視点に立った学習指導で重視する能力・態度」のうち、本時の授業で扱うものを決め、その能力・態度を育てるための効果的な方策を工夫する。

(4) ESDカレンダーの作成について

各学年で、各教科や行事とのつながりを考え、ESDカレンダーを作成する。ESDカレンダーは、適宜修正を行いながら活用する。また、主幹となる生活科、総合的な学習の時間の単元の構想を練り、年間を見通した指導ができるようにしていく。